

令和4年度研究推進計画

学校名 東広島市立向陽中学校

学校長名 植田 昌広

1 研究主題、研究内容・方法等について

研究主題	思考力・判断力・表現力を高める学習指導の工夫 ～ ICTの活用を通して ～								
主題設定の理由	<p>本校では、平成15年度から和文化学習を教育活動に取り入れ、生徒の「集中力や我慢強さ」「相手を思いやる気持ち」「礼儀やマナー」などを育ててきた。教科指導においても、小中連携のもと、和文化学習から確立されてきた「学び」と「型」の習得過程を取り入れた「向陽中学校区授業モデル」を実践し、生徒の主体的な学びを促す課題解決型の単元づくりや関わり合って学びを広げ、深める思考ツールを効果的に活用した授業づくりに取り組んだ。また「広島版『学びの変革』アクション・プラン」全県展開にあわせ、これまでの研究成果を踏まえ、開発した単元の一層の工夫・改善や、新たな単元開発に努めた。引き続き対話を通じてメタ認知させる言語活動をさせるなど、「深い学び」につながる、より効果的な授業(単元)への改善となるよう研究を深めたい。</p> <p>昨年度は、新学習指導要領の全面实施を受け、学習評価について研修しながら、生徒が対話を通して主体的に学ぶために必要なことや、思考力・判断力・表現力といった資質・能力を育てるための授業作りについて考えた。また、1人1台のタブレット型端末が配付され、ICTの活用によって、生徒の思考力・判断力・表現力を高める学習指導の工夫がさらに必要である。</p> <p>今年度は、生徒が主体的に学び、学力向上につなげていくことができるよう、タブレットや電子黒板等のICTを効果的に活用した授業づくりの研修を行っていきたい。</p>								
研究仮説	授業作りにおいて、ICTを活用することによって、生徒の主体的な学びにつながり、生徒の思考力・判断力・表現力が高まるであろう。								
研究内容	○各教科・領域等の授業におけるICTを活用した授業の実践とその改善 (生徒の思考力・判断力・表現力を高める授業作りの工夫、ICTを効果的に取り入れた授業づくり等)								
検証の方法と指標	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">指標</th> <th style="width: 50%;">検証方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全国学力・学習状況調査(客観的な技能・知識レベルが読み取れる)ワークシート、読みとるためのテスト等</td> <td>教科等部会による分析</td> </tr> <tr> <td>生徒質問紙(主観的な意識レベルが読み取れる)</td> <td>研究部による分析</td> </tr> <tr> <td>教職員に対する質問紙(主観的な意識レベルが読み取れる)</td> <td>研究部による分析</td> </tr> </tbody> </table>	指標	検証方法	全国学力・学習状況調査(客観的な技能・知識レベルが読み取れる)ワークシート、読みとるためのテスト等	教科等部会による分析	生徒質問紙(主観的な意識レベルが読み取れる)	研究部による分析	教職員に対する質問紙(主観的な意識レベルが読み取れる)	研究部による分析
指標	検証方法								
全国学力・学習状況調査(客観的な技能・知識レベルが読み取れる)ワークシート、読みとるためのテスト等	教科等部会による分析								
生徒質問紙(主観的な意識レベルが読み取れる)	研究部による分析								
教職員に対する質問紙(主観的な意識レベルが読み取れる)	研究部による分析								

2 検証計画

指標	達成目標	検証時期	検証方法
全国学力・学習状況調査	・市平均正答率比各教科1.00以上	8月	教科等部会による分析
生徒質問紙	・主体的な学びに関する項目の肯定的回答が6月の調査より増加する。	6月、12月	研究部による分析
教職員に対する質問紙	・主体的な学びに関する項目の肯定的回答が初回の調査より増加する。	随時	研究部による分析

3 校内研修計画

月	日曜	研 修 内 容	
5	10 火	校内研修会①	<ul style="list-style-type: none"> ■本校における教育実践（授業・和文化教育・総合的な学習の運用，小中一貫・接続教育） ■今年度の校内研究について（主題・副題・研究授業の目当て・内容・日程等） ■小中合同研修（日程調整中） ■授業研究（思考ツール，自己評価表，タブレットや電子黒板等 ICT の活用） ■生徒指導研修 ■情報教育 ■ 服務規律 ■ 校内授業作品掲示計画確認 ■服務規律 ■新生学園の訪問，学力調査問題の分析（生徒につけるべき力の教科間の共有） ■服務規律 ■グループ授業研究結果交流 ■学力調査結果分析（成果と課題の共有） ■授業実践取組交流（研究主題にそった取組—自己評価，授業評価） ■本年度の取組の成果と課題，改善点の確認 ■総合的な学習の時間の成果と課題の交流 ■来年度の研究に向けて
8	1 月	校内研修会②	
9		校内授業研究③	
11	24 木	校内研修会④	

ブロック研究授業実施期間

ブロック別研修 実施計画詳細（案）

ブロック	授業者	人数	実施日			指導主事 (予定)
			月	日	曜	
国語	島谷 中島 内藤	3	10			中村裕子
社会	仙立 横澤（中堅教諭等研修）	2	9			長野由知
数学	小島 木本 原	3	9			高橋学
理科	（上川） 橋本	2	7	5	火	南祥樹
音楽・美術	積山	1	5			山藤暁子
	須崎（中堅教諭等研修）	1				森田聡
体育	天野 橋本和（初任者研修） 梅木	3	11			清田美紀
技術・家庭	石田 長尾	2	11			中村裕子
英語	空下（初任者研修） 小寺 出来谷	3	10			藤岡悦子
道徳						濱本篤史
特別支援			長野由知，山藤暁子，西岡秀純			

※ 研究公開の予定について ・ ・ 今年度の研究公開の予定はなし